



▲ガラポン抽選ブース



▲女性部ブース



▲赤馬鈴薯出荷組合のみなさん



▲青壮年連盟ブース



▲熱心に聞き入る参加者



つながることや地域の幅広い世代の方と接点を持つことの大切さを呼びかけました。

JJAひろしま芸南地域は12月6日、7日に「芸南ふれあい祭」を開催し延べ7千人が来場しました。ふれあい市安芸津店の新鮮野菜や鮮魚など、お目当ての品物を求めてオープン前から長蛇の列ができました。両日とも午前9時から旬のみかんや特産の赤馬鈴薯の店頭販売、玉ねぎの詰め放題などを行ないました。

飲食ブースでは、JA女性部がおにぎりと豚汁、農産物直売所出荷協議会と青壮年連盟が焼きそばを出店。豪華賞品が当たる、ガラポン抽選会も行なわれ多くの来場者でにぎわいました。

JJAひろしま芸南地域は12月6日、7日に「芸南ふれあい祭」を開催し延べ7千人が来場しました。ふれあい市安芸津店の新鮮野菜や鮮魚など、お目当ての品物を求めてオープン前から長蛇の列ができました。両日とも午前9時から旬のみかんや特産の赤馬鈴薯の店頭販売、玉ねぎの詰め放題などを行ないました。

JJA女性部は、マイクロプラスチック削減の一翼を担うため、部員が育てたヘチマをたわしに加工し来場者にプレゼント。「懐かしい」「昨年プレゼントされて使ったが良かった」など大好評でした。

JJA安芸津支店、安浦支店、川尻支店のふれあい委員会の他、多くの組織に協賛いただきました。



▲パソコンを操作しながら講演をする若宮さん

JJA安芸津支店、安浦支店、川尻支店のふれあい委員会は、JA共済の協賛で11月10日、安浦町のシャトレーゼガトーキングダムせとうちで生きがいをテーマとした講演会を開き117人が参加しました。

芸南地域の支店ふれあい委員会は、昨年度から3支店合同で地域に寄り添った企画を実施。

今年は一般社団法人メロウ俱楽部理事の若宮正子さん（90）を講師に招き、「生きがいデジタルと仲良くしましょう」と題して講演いただきました。

若宮さんは、自身のパソコン技術の習得体験を活かして、デジタル社会は誰も取り残さない社会を目指すことに通じると説明。生きがいを持つことが長寿や生活の質の向上につながることや地域の幅広い世代の方と接点を持つことの大切さを呼びかけました。

「芸南ふれあい祭」盛大に開催!

3支店合同で講演会を開催しました

なるほど え～のう！ 営農情報



水稻

1月

先月に引き続き、土づくりをする
時期となります

冬場の土づくりは稻の生育に大きく影響するので、有機物補給、土壤改良剤の施用を行ない耕起しておきましょう。

- ①有機物（10a当り）次のいずれかを1t施用しましょう。
- ・牛ふん堆肥
 - ・豊穣2号

タマネギの防除・追肥について

防除

生育適温は15～23℃でやや低温を好み、地上部は20℃前後で地下部は16℃が最適となります。寒さに強く、生育初期に0℃程度の低温に耐えます。逆に暑さには弱く25℃以上になると生育は抑制されます。近年は暖冬傾向が強く、1月でも数日間温度の上昇がある年があります。真冬でも15℃を越える日が数日続いた時は、早めにべと病の防除を開始します。発病前の予防が重要です。

野菜全般について

本格的な低温期に入り、作物全般の生育は遅くなります。マルチ・トンネルなどを利用して保温栽培をしましょう。

また、鶏粪、油カスの施用は低温期がおすすめです。これらの発酵やすい堆肥は、高温期に使用するとガスが発生しやすく、根痛みの原因になりますが、低温期に施用すると、ゆっくり分解され土を肥やします。春に向かって土づくりに適しています。

（生産工程管理日誌は必ず提出しましょ！）

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

資材の使用例（※10a当り施用量）

②土壤改良剤は水田の状態によって使い分けで施用しましょう。

病害耐性を高める“ケイ酸”を、根腐れが多い水田では根の発根強化に有効とされる“鉄分”を含む資材を施用しましょう。

ミネラルG 200kg（10袋）

ケイ酸・鉄分・石灰・苦土・マンガ病・ごま葉枯れ予防に

防除例
べと病・灰色かび病
【発病前予防】
ダコニール1000 1,000倍液

水稻 **問** 安浦店

担当 桑原伸明

2kg（1袋）

酵素資材で、土壤環境に影響されることなく浮きワラ、ガス泡きを減少させる

アグリ革命 2kg（1袋）

年内に生ワラの上に散布。腐敗と微生物の増加を促進

石灰窒素 20kg（1袋）

ミネリッチ 100kg（5袋）
ミネラルGのケイ酸・苦土を高めたもの。生育・耐病強化に60kg（3袋）
高濃度でバランス良い改良資材。散布量を減らせる省力タイプ

その他

【発病初期】
プロポーズ顆粒水和剤1,000倍液（収穫7日前まで、使用回数3回以内）

（収穫7日前まで、使用回数6回以内）

またはジマンダイセン水和剤500倍液（収穫3日前まで、使用回数5回以内）

透明マルチ（馬鈴しょ・大根・人参など）

太陽光により地温を上昇させ、保温が可能となります。同時に土中水分の蒸発を抑制し、長雨の場合は過湿も防ぎます。しかし光を透過するため雑草は良く生え、養分が奪われる所以草を抑える除草剤の散布や、草の生え具合を見て肥料切れの場合は追肥が必要となります。

追肥
1月上旬

1回目として固形35号を1a当たり2kg条間に施用しましょう。

2月上旬

2回目として固形23号を1a当たり4kg条間に施用しましょう。
※貯藏性が悪くなり腐敗の原因となるため、肥料は必ず3月上旬までに終了してください。

黒マルチ（白菜・キャベツ・果菜類など）

透明マルチに比べると地温の上昇効果は劣りますが、光を透過しにくく、除草予防の効果が期待できます。肥料効果も持続しやすいので、初期に収穫後半までの肥料を施肥（一発施肥）すると管理がしやすくなります。

グリーンマルチ（馬鈴しょ・大根など）

ある程度の光を透過するので、前記の透明マルチと黒マルチの中間のようない地温上昇効果、除草効果が得られます。肥料は一発施肥がおすすめです。

稻ワラマルチ（露地野菜全般）

地温上昇を防ぎ、除草効果も期待される他、使用後は堆肥として利用できますが、水分が浸透するため、ワラの分解時は一時的に肥料が不足するので注意が必要です。

野菜 **問** 営農経済課

担当 久保勝義

（生産工程管理日誌は必ず提出しましょ！）

生産工程管理日誌は次期作の栽培計画に利用でき、事故から生産者・消費者を守る大事な記録です。農薬使用には細心の注意を払い、正確な記入・提出をお願いします。

果樹

2月

かんきつ

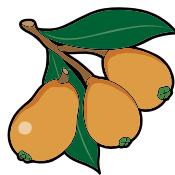
中晩柑類の採取と予措

不知火は、減酸具合を確認しながら採収し、3月からの出荷に備えましょう。

清見は早く採収すると食味が悪く、ヤケ果の発生が多く成品率が落ちるので、防寒対策を行ない3月上旬以降に採收しましょう。

甘夏は2月上旬までに採収し、5%（果実を握って見て弾力がある状態）程度の十分な予措を行ない貯蔵します。コンテナで貯蔵する場合は、果実は少なめ（手穴より下まで）に入れ、コンテナ同士の間は10cm以上開けて積み、風通しの良い条件で貯蔵しましょう。

いちじく



土壌管理

1月に続いて土壌改良の時期です。管内では酸性土壌傾向の園が多いため、マリンカルの施用(10a当たり5袋)を行なっています。春肥の施用も今月中に行ないましょう。

いちじく栽培暦に沿って堆肥・肥料を施用しましょう。
せん定は今月中に終わらせるように心がけましょう。

整枝・せん定

せん定を行なう前に、密植園の間伐および縮伐を行ないましょう。独立樹にすることで樹全体に光が当たり発芽しやすくなり、品質の良い果実が生産されます。

今年は全体的に着花不足が予想されるため、かぶさり枝の除去を中心に軽めの剪定を行ない隔年結果の是正に努めましょう。

中晩柑類

2月中旬以降、暖かくなり始めてからせん定を開始します。中晩柑類のなかでも不知火・はるみについては着花状況を見てせん定を行なうことにより、安定した大玉生産が見込めます。冬場のせん定は摘果がしづらく品質のバラツキが起こりやすい下枝除去を中心に行ないましょう。

挿し穂は15~20cm程度とし（先端ぎどる）、基部をくさび状に削ったものを排水性の良い挿し床（土壤）を選んで挿しでしょう。



農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の製品ラベルに従った保護具を着用しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民や農家に配慮し掲示版などで農薬の使用を事前に伝え、農薬が飛散してかからないように注意しましょう。
- ・作物の残留農薬が問題となつていますが、農薬の製品ラベルに従い、決められた作物種、使用量、使用時期、使用回数などを確実に守れば基準値を超えることはありません。

1月の苗販売情報

JA安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給を行なっています。数に限りがありますので、お早目にお問合せ頂きぜひご利用ください。



128穴
セルトレイ



(商品例)
キャベツ苗

今月の供給品目

品目名	品種名	販売予定	収穫予定
キャベツ	YR春空・初恋	1月 中旬~	4月 中旬~
サニーレタス ※トンネル栽培	マザーレッド・ マザーグリーン	1月 中旬~	3月 下旬~

※在庫・価格等詳細については隨時お問い合わせください。
※特注品についても相談の上、対応致します。

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある

あなたとわたしの
ふれあい市



J A ひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』
『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



明けましておめでとうございます



1月中旬～
2月中旬の
おすすめ



1月中旬から
はるみ、プリンス清見が
でま～す。



まだまだ寒い日が続きますね。

ふれあい市ではお鍋にぴったり！

白菜や大根、シイタケなどのお野菜も入荷してますよ～

春菊



～白菜



～シイタケ



～白ネギ



出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？
興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで



※写真はイメージです。

もっと！JAひろしま 芸南地域版 2026.1